

第28回 日本顎咬合学会学術大会・総会

Predictable Clinical Dentistry 予知性のある 歯科臨床を求めて

2010.6.12^{Sat} | 13^{Sun}

東京国際フォーラム

演題募集号

参加登録受付中



大会会長 山地 良子



昨今の社会情勢が学会活動に及ぼす影響は大きなものがあります。経済不況、新型インフルエンザ、政治情勢、社会的不安要素が絡み合っており、危機管理の重要性も考慮しなければならなくなりました。健康寿命に寄与する歯科の重要性をアピールし、国民への啓発とともに歯科界が元気になる学会運営をしたいと思っております。

第28回日本顎咬合学会のメインテーマはプログラムチェアマン村揚春先生による“Predictable Clinical Dentistry 予知性のある歯科臨床を求めて”と題されました。海外演者として、アニスターナー先生やウィリアム・ベッカー先生を招聘し、最新のインプラント治療についてご講演していただきます。歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の各部門の講演も明日からの臨床に役立つ充実した内容の講演を企画しています。本学会の特色でもありますテーブルクリニックや、有料ハンズオンさらに公開フォーラム等も企画しています。会員の皆様のご要望に応えるべく役員一同鋭意準備に励んでおりますので、多くの皆様の学術大会へのご参加をお願い申し上げます。

プログラムチェアマン 林 揚春



現在の歯科治療は、機能回復および審美性の向上は当然であり、患者の要望も高度化し長期安定性が求められている。このような状況の中で、不況による医療費抑制策のために保険診療に希望が持てない現実を考えると、我々歯科医師は、患者の要望に答えなおかつ信頼関係を得ることが目標となる。そのためには、歯内療法、歯周治療、補綴治療などの各分野での診断力と治療技術を高め、歯科医、歯科技工士、歯科衛生士の役割責任および三位一体の協力を強め、予知性のある歯科治療を実践しなければならないと考えている。

第28回顎咬合学会学術大会の主な特徴としては、基調講演では、インプラントと歯周治療で著名なアニスターナー氏とウィリアム・ベッカー氏の招聘が決定している。

また各ホールでのテーマ別プログラム講演では、講演内容のより一層の理解を深めるために、診断および治療計画からメンテナンスまでの治療の流れを主軸に構成し、会場からのディスカッションを中心に、現在の歯科臨床各分野でのコンセンサスを提示して頂きたいと考えている。また、明日からの臨床に役立つように、実践的なハンズオンやテーブルクリニックを増やす予定である。

ホールC

9:00 ▶

開会式

9:15 ▶ 12:30

特別講演

Aesthetics and Implants - what we know and what we still have to learn 歯肉の審美性とインプラント
～何を知らなくてはならないか? 何を知らなければいけないか?～

デニス ターナー (1968)

座長: 菅田 健男

13:30 ▶ 17:15

歯科医師部門 シンポジウム

予知性のある審美歯科修復を求めて
～審美歯科をさまざまな角度から分析する～

■CR充填とセラミックインレー・アンレーの
ケースセレクション
岡口 守雄 (50歳)

■予知性のあるラミネートベニア修復を求めて
高光 謙一郎 (50歳)

■予知性のある審美修復を求めて
～成功するための教習院へのアプローチ～
土屋 賢司 (50歳)

■オーバーロード 荷重による天然歯と
修復物のダメージの臨床像
内藤 正裕 (45歳)

ディスカッション (20分)

座長: 内藤 正裕

[講師] Dennis P Tarnow, DDS

ニューヨーク大学歯学部、歯内科学・インプラント歯科学科の教授兼学部長。米国歯内科学会 (IAA) より、宗匠ある Master Clinician Award (優秀臨床医賞) を受賞している。Master Clinician Award は、7 年間に亘り審査して臨床的に素晴らしい成果をあげ、その臨床経験を同分野の医師と積極的に分かち合うことで共有してきた医師に授けられるもので、該当する極めて優れた医師がいるときにのみ、贈られる賞である。



ホールB7左側

13:30 ▶ 17:10

歯科技工士部門

咬合調整、咬合様式
(一歯対一歯、一歯対二歯咬合など)
咬合面形態等を含めた
実践的咬合調整について

■スプリントを用いた咬合調整
～咬合調整は診察時からすでに始まっている～
山口 俊一 (56歳)

■的確な咬合を与えるために
～ラポサイドの理論と実践～
山口 潤行 (56歳)

■歯冠修復を伴う咬合の再建
セラミック修復の過去・現在・未来
桑田 正博 (56歳)

■咬合直書誌を咬合歯位の安定から考察
本多 正昭 (55歳)

座長: 真木 好太郎

ホールB7右側

13:30 ▶ 17:15

歯科衛生士部門

長期例から予知性を考えた歯周病治療
を観る、予測する、患者さんと一緒に考え
ともに治す
谷口 基夫
山岸 貴美恵

座長: 上野 道生

ホールB5 皇居側

13:30 ▶ 17:15

メーカーシンポジウム①

■エムドゲイン®ゲルを用いた
再生療法の可能性を探る

■歯肉組織再生療法の臨床応用とその考察
林 美穂 (30歳) (福岡県福岡市南区)

■歯肉治療におけるエムドゲイン®の位置づけ
武田 朋子 (30歳) (東京都世田谷区南町)

■再生療法の現状と未来
町藤 三保 (30歳) (鹿児島大学病院歯周科)

■矯正治療における歯肉組織再生療法の臨床
応用 志村 理恵 (30歳) (静岡県太田市)

■歯肉組織を考慮した審美修復治療
天川 由美子 (30歳) (東京都港区南青山)

■エムドゲイン®の臨床応用
～歯肉組織再生からGBRまで～
柴田 和寛 (30歳) (船橋市立歯科医務局)

質疑応答・討論会 (20分)

座長: 山地 貞子

 YONETA
株式会社ヨシダ

9:15 ▶ 12:15

公開フォーラム

かむことは食育の入り口
～幸せをかみしめて!!～
よくかめば、キレない、ボケない

■食事の向こう側に見えるもの
～命の入り口 心の出口 佐藤 弘 (30歳)
(西日本新聞社 編集局 編集企画委員会)

■口の健康と食べる機能的発達
増田 純一 (20歳) (日本矯正歯科学会指導員
マダガ小児矯正歯科医院 院長)

■口から食べることは生きること!
塚本 実樹 (20歳)
(福岡歯科大学 成長発達歯学
障害歯科学分野 准教授)

■食は食卓にある。
鈴木 尚 (30歳)
(キユーピー株式会社 代表取締役社長)

■学校における食育と食で得る楽しい食事
石井 克枝 (30歳) (千葉大学教育学部 教授
日本家庭科教育学会理事)

■噛めば噛むほどダイエット!
～めざそう! 噛ミング30～
武井 典子 (30歳) (日本歯科衛生士会 副会長
厚労省 食料保健と食育のあり方検討会)

ディスカッション (20分)

座長: 鈴木 尚

9:15 ▶ 12:15

招聘講演

■GBRを検証する

■Guided Bone Regeneration: From
Concept to Reality—Are These
Procedures Necessary for Clinical
Success??
骨再生治療法: 概念から現実へ—
このような処置は臨床的成功に必要か?

ウィリアム ベッカー (1980)

座長: 伊藤 公一

9:15 ▶ 12:15

■総歯列における人工歯排列を
再考する

■歯槽頂隆起適用では対応出来なくなった
総歯列症例
～臨床では! 教育現場ではどうしている、
どうすべきか～
江藤 武彦 (60歳)

■“歯槽骨列形成に対する考察とその手技”
河部 義孝 (60歳)

■人工歯の排列位置を再考する
～総 歯槽頂隆起、顎道の状態を
どう捉えるか～
黒岩 繁弘 (60歳)

座長: 村岡 秀明

9:15 ▶ 12:15

メーカーシンポジウム②

■(仮)補綴・インプラント・歯肉・矯正の
ための咬合の重要性

菅田 健男

石川 朝

田村 勝美

 MORITA
株式会社モリタ

ランチョンセミナー

 straumann
ストローマン・ジャパン株式会社

13:30 ▶ 16:30

レディースプログラム

■かぶきれいトーク&メイクデモ
かぶきれいこ (30歳)

■「白い歯・歯美人・笑顔美人
～歯を白くするのが審美歯科?～」
田島 菜穂子 (45歳)

■「若返り! モデルスマイル塾」
～表情筋訓練を取り入れたMFT～
石野 由美子 (45歳)

座長: 安生 朝子

ランチョンセミナー

■究極の審美修復への挑戦 ～predictable and
productive approach to excellent restorations～
高橋 尚

 3M ESPE
スリーエムヘルスケア株式会社

13:30 ▶ 16:30

メーカーシンポジウム③

これで納得!
抜歯即時埋入の「なぜ?」に答える!
～痛みない歯肉の落とし穴 ワースト20～

シンポジスト

林 操香

森田 隼彦

吉竹 弘行

米沢 和彦

鈴川 雅彦

座長: 後藤 昌昭

 IKUHO
株式会社白旗

13:30 ▶ 16:30

シンポジウム

■第3の要因としての力

■「力」と臨床症状
～診断は間違っていないか～
鈴木 尚 (30歳)

■長期経過例から見たインプラント
補綴後の力の影響
武田 孝之 (30歳)

■メカニカルストレスは咬合の要
～力の病態学～
井上 孝 (30歳)

座長: 鈴木 尚

13:30 ▶ 16:00

LIVE OPE

■紙浸漬で失敗しにくいサイナスリフト
～ピエゾエレクトリック・デバイスを用いて～
船田 淳 (120歳)

■コメンテーター&講演: ソンドン ソク
池田 真穂 (30歳) (コウ・ヘイテン)
(ハルビン医科大学客員教授
大連医科大学客員教授)

座長: 上田 秀樹/菅原 礼二

【講師】 Dong-Seok Sohn ,DDS,phD

大韓カトリック大学校歯科および口腔顎顔面外科の教授兼学部長
 国際口腔インプラント学会 (ICO) アジア太平洋地区元会長
 ICOアジア太平洋地区理事兼元理事長
 ICO韓国、韓国口腔インプラント学会元会長
 2000年、トロント大学歯学部客員教授
 2007年、ニューヨーク大学インプラント学術部客員教授
 2008年～現在、ICOアジア太平洋地区理事兼元会長
 2008年～現在、ICO韓国、韓国口腔インプラント学会名誉会長



【レディーズプログラム講師】 かづき れいこ

大阪生まれ。
 フェイシャルセラピスト、歯学博士、FRCR(K) KAOKU卒業。
 新潟大学歯学部講師経験、早稲田大学歯学部総合研究所客員
 教授ほか、8大学にて非常勤講師も勤める。
 メイクを通して女性の心癒を追求。また、治療前と連携し、歯
 ややけどあとのカバーや、それに伴う精神的ケアを行う「リハ
 ビリメイク」の第一人者。
 幅広い年代の人を対象に、元気に生きるためのメイクを教える
 ほか、テレビや雑誌、講演会などでも広く活躍中。



ホールB5ガラス棟側
 13:30 ▶ 16:00

【デニス ターナ-に聞く、
 インプラント補綴】

■多数歯欠損症例におけるインプラント導入のポジショニングおよび補綴デザイン
 鈴木 玲樹(20分+10分)
 ■インプラント補綴における治療計画
 中山 隆司(20分+10分)
 ■Biologyを考慮した前歯部インプラント補綴
 神作 拓也(20分+10分)
 ■インプラント治療の成功率と耐久性の向上をめざして
 藤井 秀徳(20分+10分)
 ■重度歯周疾患に対してインプラントを用いて咬合再構成を行った症例
 齋藤 誠(20分+10分)

コメンテーター:デニス ターナ-
 座長:永原 国典

ガラス棟G502
 13:30 ▶ 17:15

もう一度整理する
 「補綴」編

■審美歯科を支える接着歯学
 -その基礎と臨床テクニックの実践
 高橋 真登(70分)
 ■最高級の接着:材料選択、歯の切削法および使用法
 田上 頌次(70分)
 ■部位・症例別に就た接着剤の選択基準と使用方法
 松本 勝利(70分)

【ディスカッション】 (15分)

座長:南 浩彰

ガラス棟G510
 13:30 ▶ 17:15

MTMのニュートレンド

■インプラント前処置としてのM.T.M
 澤田 隆史(70分+5分)
 ■MIA(Micro Implant Anchorage)を用いたMTM
 高橋 正光(70分+5分)
 ■クリアアラライナーの臨床応用
 澤田 和也(70分+5分)

座長:市村 賢二

セミナー室1
 13:30 ▶ 17:15

【食育シンポジウム】

■食育と噛みダシ30(カミングサンマル)
 口腔保健と食育
 -各ライフステージの課題と対応-
 丸井 美華(40分)(自治体歯科専門職員)
 ■歯科食育メッセージ 丸井 美華(40分)
 (日本歯科医師会食育・小児保健委員会 委員長)
 ■実践的歯学-栄養調査成績からみた口腔保健と栄養摂取- 食生活の動向
 山崎 友士(40分)(国立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養科学プログラム委員 兼 栄養調査プロジェクト)
 ■ライフステージに対応した食育の推進 ~「食べ方」に関する研究から~
 武井 典子(40分)
 (日本歯科衛生士会 副会長)
 ■学校における食育からみた歯と口の健康
 -よくかんで元氣モリモリー-
 山崎 友士(40分)(中学校校長教諭)

【ディスカッション】 (15分) 座長:丸井 美華

セミナー室2
 13:30 ▶ 17:15

【若く女性になるために】

■夢を叶える歯科医院
 成田 信一(90分)
 ■モチベーション! スタッフ育成セミナー
 岩淵 龍正(90分)
 ■意志ややる気は関係ありません!
 あなたも続けられる
 -「疲れない」のための強者の技術-
 石田 洋(90分)

【ディスカッション】 (30分)

座長:石川 朋

9:15 ▶ 12:15
 シンポジウム

咬合治療を考える
 ~咬合から全身の健康へ~

■力の不調和と症型分類
 -ストマトロジーの観点から-
 筒井 順子(90分)
 ■健康や口腔機能を高めるための矯正を用いた咬合治療
 山崎 正樹(90分)
 ■骨格系を基準とした咬合による顎関節症のリスクとは?
 -そのみわけかたとインプラントを用いた治療法-
 大久保 厚司(90分)
 ■全身的慢性疼痛を有する患者
 (慢性 線維筋痛症)への歯科的対応
 山田 真志(90分)
 ■“機能咬合論”に基づいた咬合治療からみえてきたこと”
 永井 晋二(90分)

【ディスカッション】 (30分)

座長:山崎 正樹/永井 晋二

9:15 ▶ 12:10
 治療計画からメンテナンス

■矯正診断を基に立案した前歯部審美修復の治療計画
 松崎 浩成(20分+15分)
 ■残存天然歯保存の可能性を探る
 中島 稔博(20分+15分)
 ■咬合も考慮した審美修復症例
 板井 健次(20分+15分)
 ■歯位の保全を考慮した多数歯欠損症例
 安光 純平(20分+15分)
 ■咬合再構築症例を振り返って
 -治療計画からメンテナンスにおける問題点-
 二階堂 浩徳(20分+15分)

コメンテーター:下川 公一/菅野 秀康

9:15 ▶ 12:15
 Hygienist ~今 この時代へ~

■「Hygienistの視点から」
 丸田 有代(90分)
 ■十人十色-それぞれが求める事-
 鈴木 恵晴(90分)
 ■歯科衛生業務の専門性をさらに発揮しよう!
 薄井 由根(90分)

座長:小林 和子

9:15 ▶ 12:15
 HOW TO メンテナンス

■もう治療の“おまげ”とは言わせない
 山本 浩正
 ■患者さんを痛にする!
 プロフェッショナルクリーニング
 小松 英理香
 ■患者さんの心をつかむ
 検査データ活用
 多田 さくら

座長:小林 和一

9:15 ▶ 10:15
 【開業学セミナー】第一部

■ハッピースタート
 ハッピーリタイヤ
 遠山 光良(90分)
 (現 みずほ信託銀行株式会社 取締役社長
 元 みずほ信託銀行株式会社 取締役副社長)
 座長:赤石 健博

10:15 ▶ 12:15

【開業学セミナー】第二部

■生涯顧客満足経営
 強みを活かして違いを出せ!
 竹村 英雄(90分)
 (元アメリカホンダ副社長
 NPO法人顧客ロイヤルティ協会理事
 国内生涯学習開発財団認定コーチ
 TAKE COACHING OFFICE 代表)
 ■優良な医療は健全な医療経営の基で成り立つ!! この言葉を胸に磨いて事に当たるべし!! 素晴らしい歯科界の未来への変革!! 歯科医業は素晴らしい職業です!!
 高橋 英史(90分)
 座長:中川 孝男

ランチョンセミナー

■最新CAD/CAM技術によるデータメイドのインプラント補綴
 ~3D印刷によるインプラント補綴システム-
 田中 健治
 デンププライ三倉株式会社

ランチョンセミナー

ASTRA
 アストラテック株式会社

ランチョンセミナー

伊藤超短波株式会社
 伊藤超短波株式会社

13:30 ▶ 16:30

患者さんが減らないために、
 私が歩いてきた道とこれからの歯科

河原 英盛
 座長:赤石 健博/夏見 良宏

13:30 ▶ 16:30

もう一度整理する
 「エンド」編

■エンドと共に考える補綴と咬合
 エンドの本来的目的は-
 平井 頌(90分)
 ■歯内疾患の臨床診断と処置の要点
 林 正規(90分)
 ■なぜ?上手く行かない根管拡大形成!
 (根管拡大・形成を振り返る)
 山田 邦雄(90分)

座長:高橋 龍社

13:30 ▶ 16:30

インプラントセラピーを再考する
 ~より良い上部構造を提供するために~
 -上部構造のデザインおよびマテリアルセレクション-

■審美領域におけるインプラント修復
 高橋 健(40分)
 ■ダブルクラウンを用いた術者可搬式ブリッジを考察する
 木村 健二(40分)
 ■リスクに応じたインプラント補綴
 ~フボ・診療室相互の必要性から生じた対応の変遷-
 板井 俊孝(40分)
 ■別々4 コレが解決したデジタルストレージとクラウドのインプラントデータ管理
 八島 宏文(40分)

座長:田村 賢夫

13:30 ▶ 16:30

患者自らの歯科医院経営

■財務データから読み解く
 “患者が望む歯科医院”
 角田 祥子(90分)
 ■患者の視点から治療計画を考察する
 石川 朋(90分)
 ■患者心理から見る最近の紛争事例と
 その予防と対策
 永松 栄司(90分)

座長:橋本 敏

13:30 ▶ 16:30

私のコンサルテーションスタイル

■患者さんにパラダイムシフトを
 与えるコンサルテーション!!
 南 浩彰(90分)
 ■2010年最優秀賞の
 村岡 秀典(90分)
 ■私が行っている5色・歯周病予防の
 コンサルテーション
 原山 正章(90分)
 ■PCを活用した患者への
 ビジュアルプレゼンテーション
 吉田 秀人(90分)
 ■歯内療法は臨床にでて第一歩
 からずーっとついでまる
 分野です!
 小嶋 貴(90分)

座長:加々木 恵一

テーブルクリニックのご案内

【12日】セッション1 13:30▶15:00(90分) セッション2 15:30▶17:00(90分)

【13日】セッション3 9:15▶10:45(90分) セッション4 11:00▶12:30(90分) セッション5 13:30▶15:00(90分) セッション6 15:15▶16:15(90分)

12日	テーブル1	テーブル2	テーブル3	テーブル4	テーブル5	テーブル6	テーブル7
1	【有料ハンズオン1】 ■企画 ソン ドン ソク 講師: 美保 紗 (コク ヘイチン)	【有料ハンズオン2】 ■企画 石原 美穂	【講演①】 ■歯科治療時における全身的思考とその実際 飯田 恒康	【歯内療法(エンド)①】 ■歯内療法におけるCBCTを用いた根管の形態把握とその治療の実際 小山 浩一郎	【インプラント・外科①】 歯槽骨を多く獲得し咬合に対するインプラント外科と新たなセメントレス、スクリューレスで歯槽が容易な形成促進療法の開発の概要について 下田 恒久	【インプラント・外科②】 ■歯周外科・基本事項の再確認 ~切除療法から再生療法まで~ 平井 友成	【歯科衛生士①】 ■ベーシックアシスタントワーク(一番大切にしたい技術の実際) 原井 真美
2			■企画 (株式会社モリタ)	【歯内療法(エンド)②】 ■根管治療を困難治療にしないための対策-JHエンドシステム- 金沢 基史	【インプラント・外科②】 ■期間ミニインプラントは患者のQOLの維持と顎口腔機能回復に有効である 永田 勲	【インプラント・外科③】 ■インプラント治療にも役立つ切除療法、再生療法 水上 晋也	■企画 菅光 洋
3	【有料ハンズオン3】 ■臨床にすぐに役立つ実践的歯内療法~JHエンドシステム~ 平井 友成	【有料ハンズオン4】 ■企画 歯科技工士向けセッションを企画	【講演②】 ■下顎骨質密度低下症例へのデンタルインプラント手術にフォーカス: 骨密度低下のためのチェアサイド・アナトミー 阿部 伸一	【歯内療法(エンド)③】 ■根尖病変を治療に導くポイント 倉高 真	【インプラント・外科③】 ■おさえておきたい! 基本的なインプラント術のソフトティッシュマネージメント 田中 基一	【インプラント・外科④】 ■歯周-インプラント外科手術に必要な結合の基本的な知識テクニックこれぞ解決-上達に必要な結合の理論と実践 原井 真一	■歯科衛生士② ■フェイスマスク(透明トレーニング)を取り入れた美しいスマイルアップの実際~実践的効果的なパワースマイルを手に入れる方法を教えます! 野玉 真紀
4	【有料ハンズオン5】 ■臨床にすぐに役立つMTM-Lループを利用した前歯審美領域でのエクストルージョンの臨床応用:ワイヤーベンディングとアクチベート方法の実際- 渡辺 隆史	【有料ハンズオン6】 ■デンタルスーチャリング-歯科結合の基礎と検査法- 中 基史	【(仮)PRGFシステムによる再生治療について 塚原 宏康	【歯内療法(エンド)④】 ■歯内療法の難症例と歯内療法実用症例について考察する 吉川 忠一	【インプラント・外科④】 ■明日からできるインプラントティッシュマネージメント-組織学的見知から臨床テクニックを考える- 吉松 繁人	【インプラント・外科⑤】 ■ビエゾを用いたインプラント治療 森田 剛彦	【歯科衛生士③】 ~フェイスアップ(透明トレーニング)を取り入れた美しいスマイルアップの実際~実践的効果的なパワースマイルを手に入れる方法を教えます! 野玉 真紀
5			【(仮)PRGFシステムによる再生治療について 塚原 宏康	【歯内療法(エンド)⑤】 ■「エンドの難症例と歯内療法実用症例について考察する」 吉川 忠一	【インプラント・外科⑤】 ■自らが開発した粘着骨膜外固定器のインプラント臨床での使用法-骨発生補助器具の使用法- 矢野 尚一	【インプラント・外科⑥】 ■インプラント-歯周治療と矯正治療のインターディシiplinary 丸谷 真一郎 山田 正樹	■スタッフと共に進むのか? 進んでいくのか? ワシの非科学的基準 高木 知
6			【ノンメタルクラスプデンチャー-エステシオットの臨床-審美的な美しいパーシャルデンチャーを求めて 村岡 秀明	【歯内療法(エンド)⑥】 ■E80エンドシステムを使用した歯内療法 山下 保徳	【インプラント・外科⑥】 ■安心・安全を目指して、ビエゾテクニックを応用したサイナスフロアエレベーション 高橋 正英	【インプラント・外科⑦】 ■精密・正確・緻密な歯科治療をもとめて~顎関節-CTをもとめて- 丸光 謙一郎	■日常歯科臨床における歯科用CTの活用。 寺西 邦彦

12日	テーブル8	テーブル9	テーブル10	テーブル11	テーブル12	テーブル13
1	【歯科技工士①】 ■ジルコニアを加工する上でCAD-CAMに頼らない自由な設計が可能なコピーミリングの実際 次世代のジルコニア[pretau]の紹介 池田 健彦	【補綴①】 ■補綴修復におけるおさえておきたい基本的なポイント 樋口 恒康	【補綴②】 ■支台歯形成の理論と臨床 小林 亨	【経営①】 ■Implantを用いた咬合改善治療における歯科用CTの活用 井上 秀人	【インプラント・外科⑧】 ■抜歯即時埋入インプラントの臨床及び基本手技 荒畑 一彦	【その他①】 ■咬合機能異常の歯科東洋医学的考え 菅江 利明
2	【歯科技工士②】 ■「下顎前歯部の矯正を達成するための歯科技工」-Frame Cut Backトレイ、SR-Phonaresを用いた歯面製作について- 小久保 京子/阿部 二郎	【補綴②】 ■インプラント治療を含んだ咬合治療へのアプローチ 中野 康晴	【補綴③】 ■Lavaフレームの現状と展望 藤松 孝夫	【経営②】 ■矯正歯科臨床におけるパラダイムシフト(医療の質と安全と環境の視点から) 佐藤 英彦	【インプラント・外科⑨】 ■結合経路導管による骨質改善およびRidge Augmentationにおける手技と使用器具の取り扱い方 藤原 真明	【その他②】 ■歯科医師-技工士-衛生士が知っておくべき得する漢方薬の選び方とツボの見つけ方 高橋 武志
3	【歯科技工士③】 ■インプラント技工に生かすミリングテクニック 中島 清史	【補綴③】 ■オールセラミックレステレーションの選択基準を学術的に考察する 沼田 詩子	【補綴④】 ■支台歯造の基礎と臨床 堤 春比古	【企画①】 (株式会社モリタ)	【インプラント・外科⑩】 ■「This is ビエゾ・ジェリー」 小川 恒久	【認定医教育セミナー】 ■咬合診断の第一歩(1分で出来るフェイスボウトランスファー) 武井 雅治
4	【歯科技工士④】 ■歯槽折断を考慮した進化型インプラントフレームにおけるインターナルライブ(内側)ステインテクニックを用いた色調再現 渡辺 一史	【企画②】 (株式会社モリタ)	【補綴⑤】 ■(仮)審美歯冠修復を成功に導くダイレクトコンポジット 大谷 一紀	【企画②】 (株式会社モリタ)	【インプラント・外科⑪】 ■インプラント即時修復の臨床術式 近藤 尚知	【補綴④】 ■下顎顎骨吸収印象の実際-吸着の確率を上げるために- 佐藤 隆史
5	【歯科技工士⑤】 ■抜歯即時埋入における技工テクニック 上原 秀樹	【補綴⑤】 ■審美歯科の基本手技を得るためのノウハウ 小松 敏成	【補綴⑥】 ■咬合採得のエラーから学ぶ~歯科医-歯科技工士編 山崎 俊一/山口 勇行	【企画③】 (株式会社モリタ)	【補綴⑤】 ■2-Implant OverDenture ~下顎無歯顎補綴の新しいオプション~ 池田 行雄	【補綴⑤】 ■患者とのコミュニケーションに役立つ人間学 中村 雅三
6	【歯科技工士⑥】 ■カスタムアパットメントからフルブリッジまで ジルコニア、チタンの素材の長所を生かし、適合精度の向上を図ったインプラント上部構造 岡 聖生	【補綴⑥】 ■審美補綴のための支台歯形成と印象採得 大村 尚道	【補綴⑦】 ■(仮)パーフェクトベリオカリエシステム最先端の活性化HClO療法による予防システム 野口 京則	【企画④】 (株式会社モリタ)	【補綴⑥】 ■歯槽骨治療を楽しくさせるEPS(生体機能回復システム)「セントリックトレイとナゾメーター」を体験しませんか! 佐藤 貴典/佐藤 幸司/吉本 邦男	

かむことは 食育の入口 〈よくかめばキレないボケない〉

私どもの専門領域でもある

「かむ」ということは脳の発達に
大きな影響を与えています。

最近よく耳にする

「キレやすい子供」や

「認知症のお年寄り」の要因として

「かむ」ことの因果関係が

確認されています。

かむことを食育の入口としてとらえ

みなさんにその重要性を広く認知し

ていただければ幸いです。



〈講演者〉

■食卓の向こう側に見えるもの

佐藤 弘

西日本新聞社 編集局 編集企画委員会 編集委員

■口の健康と食べる機能の発達

増田純一

日本顎咬合学会指導医 マスタ小児矯正歯科医院 院長

■口から食べることは生きること!

塚本末廣

福岡歯科大学 歯学専攻歯学 歯病歯科学分科 准教授

■愛は食卓にある。

鈴木 豊

キュービー株式会社 代表取締役社長

■学校における食教育と楽しんで味わう楽しい食事

石井克枝

千葉大学教育学部教授 (日本家庭科教育学会理事)

■噛めば噛むほどダイエット! ~めざそう! 噛ミング30~

武井典子

(社)日本歯科衛生士会副会長 (厚生労働省歯科保健と食育の在り方に関する検討会委員)

日 時 : 2010年6月13日(日) 9:15~12:15

場 所 : 東京国際フォーラム Cホール (東京都千代田区丸の内3-5-1)

車いす・手話対応あり

参加費 : 無料

認定医教育セミナー(有料)

認定医および認定医を目指す歯科医師の咬合研修ハンズオンセミナーのご案内

日 時 6月13日(日) 9:15~12:30

会 場 地下2F 展示ホール テーブルクリニック会場内

【概要】

咬み合わせ認定医または認定医を目指す先生方を対象に、フェースポーと咬合器を使用した実践型の実習です。診断と治療計画の立案に、また補綴物の技工操作等、臨床での咬合器の活用に興味のある方、あるいは、臨床での基本的操作を再認識したい方には是非、受講をお勧め致します。

なお、認定医には認定単位が加算されます。

【申込方法】

4月1日(木)より第28回日本顎咬合学会 学術大会HPにて申込受付を開始致します。

▶ <http://www.ago.ac/28th>

受講料 6,000円(先着20名まで)

※20名を超えた場合はキャンセル待ちとなります。

学術大会参加登録に関して

事前参加登録

2010年2月1日(月)正午～5月19日(水)正午

※厳格厳守とさせていただきます。

●当日受付もごさいますが、かなりの混雑が予想されますので事前参加登録をお勧めします。なお、当日受付はクレジットカードのご利用が出来ませんのでご注意ください。

事前参加登録方法

HPからのみの受付となっております。原則としてメール、FAX、郵送での受付は行っておりません。

▶ <http://www.ago.ac/28th>

※インターネット環境に問題がございましたらお手数ですが、学術大会事務局までご確認ください。

学術大会参加費

会員歯科医師 27,000円
 歯科技工士/歯科衛生士/歯科助手 12,000円
 臨床研修医 5,000円
 学生 1,000円

■ 会員以外の歯科医師の方へ ■

学術大会参加には日本顎咬合学会への入会が必要になります。事前に、日本顎咬合学会HP(<http://www.ago.ac/nyukai>)からのお手続きをお済ませください。 ※別途、入会金、年会費がかかります。

●事前参加登録のお支払い方法は、クレジットカード、コンビニ払、ゆうちょ払がご利用いただけます。なお、クレジットカードは事前参加登録のみ利用可能で当日受付ではご利用いただけませんので事前登録をお勧め致します。

●臨床研修医は証明書、学生は学生証が必要となっております。なお、学生は当日受付のみとなっております。

●複数名の同時申し込みが可能です。参加者全員のお名前をご登録ください。同一名の複数申込は重複と判断し、登録が出来ません。なお、お支払いは代表者の一括払いとなりますので予めご了承ください。

●事前参加登録申込後のキャンセルは未定でございますので予めご了承ください。

●コンビニ払、ゆうちょ払をご希望の場合は振込用紙を1週間～10日程度で印刷代行業者(SMBCファイナンス)よりお送りさせていただきます。

●学術大会の参加に際しての会員の資格がお支払いする参加費は消費税の課税仕入に該当しませんのでご注意ください。

●期間中に登録頂上、入金確認が取れた方にはネームカードを事前にお送りさせていただきます。

2月1日(月)～4月14日(水)までにご登録、ご入金頂いた場合 **4月下旬に発送予定**

4月15日(木)～5月19日(水)までにご登録、ご入金頂いた場合 **5月下旬に発送予定**

※参加証は再発行致しかねますので学術大会当日必ずご持参ください。

有料ハンズオンのご案内 ※ハンズオン概要は決定次第HPに掲載させていただきます。

日程 6月12日(土)/6月13日(日) 会場 地下2F 展示ホール
 テーブルクリニック会場内

【申込方法】

4月1日(木)正午より第28回日本顎咬合学会 学術大会HPにて(<http://www.ago.ac/28th/>)申込受付を開始致します。
 ※HPからのみの受付となります。

◆受講料/各セッションにより異なります。

◆定員/30名予定(各セッションにより異なります。)

定員を越えた場合はキャンセル待ちとなります。

※事前登録がお済みでない方はお申し込みいただけませんのでご注意ください。

事前登録に関するお問い合わせ

第28回日本顎咬合学会 学術大会事務局

TEL 03-3261-0474 FAX 03-6691-0261

E-mail reg@ago.ac

入会・単位等に関するお問い合わせ

日本顎咬合学会

TEL 03-6683-2069 FAX 03-6691-0261

E-mail nichigaku@ago.ac

一般演題公募に関して

募集内容

口演発表 120題 / ポスター発表 100題

演題募集期間

2010年1月12日(火)～3月10日(水)

※歯科医師は学会員のみ、歯科技工士、歯科衛生士の方は、学会員以外でもご応募いただけます。

●なお、演題採択に関しましては、プログラム委員会にて選考を行い決定させていただきます。ご希望に添えない場合もございますが、予めご了承ください。

●採用通知は、2010年3月中旬以降にご登録頂きましたメール宛に通知させていただきます。

応募方法

HPからのみ受付

応募カテゴリー、発表形式を選択してください。その後、抄録のご投稿をお願い致します。

▶ <http://www.ago.ac/28th>

※原則としてメール、郵送、FAXでの受付は行っておりませんので予めご了承ください。

演題・抄録に関するお問合せ

E-mail ▶ endai@ago.ac

第28回日本顎咬合学会学術大会事務局

TEL 03-3261-0474 FAX 03-6691-0261

E-mail gakujutsu@ago.ac

会場 東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1

TEL.03-5221-9000

交通のご案内

- JR有楽町線より徒歩1分(東京フォーラム口)
- JR東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅と地下1階コンコースにて連絡)
- 有楽町線有楽町駅より徒歩1分(出口A4bと地下1階コンコースにて連絡)

